SoftBank for Biz

ホワイトクラウド ASPIRE

プライベートクラウド

サービス説明書

Version 4.01

2024 年 4 月 30 日

ソフトバンク株式会社

目　次

本書について 4

1. サービス概要 6

1.1. サービス概要 6
1.2. サービス提供範囲 6
1.3. 本サービスのメニュー体系 9

2. サービス仕様 10

2.1. サービスメニュー 10
2.2. 基本サービス 16
2.2.1. 管理パッケージ 16
2.2.2. 専用ストレージ 27
2.2.3. 追加ホスト 31
2.2.4. ベアメタルサーバ 33
2.3. オプションサービス 39
2.3.1. 移行ツール 39
2.3.2. コンテナ機能 42
2.3.3. エコノミーストレージ 44
2.3.4. NSX ロードバランサ 45
2.3.5. 他サービス接続用 L2 セグメント追加 47
2.3.6. 多機能ロードバランサ(Netwiser VE) 48
2.4. セキュアオプションサービス 52
2.4.1. 管理ポータル 52
2.4.2. Key Management Service（KMS） 53

3. サポートサービス仕様 55

3.1. 法人テクニカルサポート Web と受付窓口 55
3.2. サポート範囲の制限 55
3.3. 設備の保守 56
3.3.1. 基本契約 56
3.3.2. ベアメタルサーバ 56
3.4. メンテナンス 58
3.5. 品質保証制度 59
3.5.1. 基本契約の SLA 59
3.5.2. ベアメタルサーバの SLA 59

4. データ保護 61

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

5. 契約条件・課金方式 62

6. 免責事項・禁止事項 65

7. 改訂履歴..... 66

別紙 1. 本サービスにおけるソフトウェアバージョン 68

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

本書について

この章では、本書の記載内容について説明します。

本書の位置付け

本書は、ソフトバンク株式会社（以下「ソフトバンク」という）が提供する「ホワイトクラウド ASPIRE プライベートクラウド」（以下「本サービス」という）の利用に関する説明書です。別に定める「ホワイトクラウド ASPIRE 利用規約」（以下「利用規約」という）に基づき、提供する本サービスについてその内容を示します。お客さまは、本サービスの利用申込書に記名捺印の上、ソフトバンクへサービス利用申し込みを行うことで、本書の内容に同意したものとします。

本書内の記号について

本書で使用している記号には、以下のような意味があります。

重要	要件を満たさないとサービスを利用できない事柄、知らないとお客さまの不利益となる情報など、注意していただきたい重要なことを記載しています。
補足	知っていると便利な情報や、補足情報などを記載しています。
参照	関連情報の参照先を示しています。

本書の変更について

ソフトバンクは予告なく本書を変更することがあります。最新情報については、ソフトバンクホームページより入手できます。

商標について

本書に掲載されているソフトウェアおよび周辺機器の名称は、各メーカの商標または登録商標です。

著作権について

本書の著作権はソフトバンク株式会社に帰属します。事前にソフトバンクの許可を受けずに、複製、公衆送信、改変、切除、お客さまのウェブサイトへの転載などの行為は著作権法により禁止されています。本書に含まれる全ての情報は、本サービスをご利用いただくことを目的とします。事前のソフトバンクによる許可がない限り、本情報の全て若しくはその一部の第三者への開示および転用を禁じます。

運営主体

本サービスの運営主体は以下の通りです。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

法人番号： 9010401052465

商号又は名称: ソフトバンク株式会社

本店又は主たる事務所の所在地: 東京都港区海岸１丁目７番１号

参考（国税庁 法人番号公表サイト）：https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/henkorireki-johoto.html?selHouzinNo=9010401052465

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

1. サービス概要

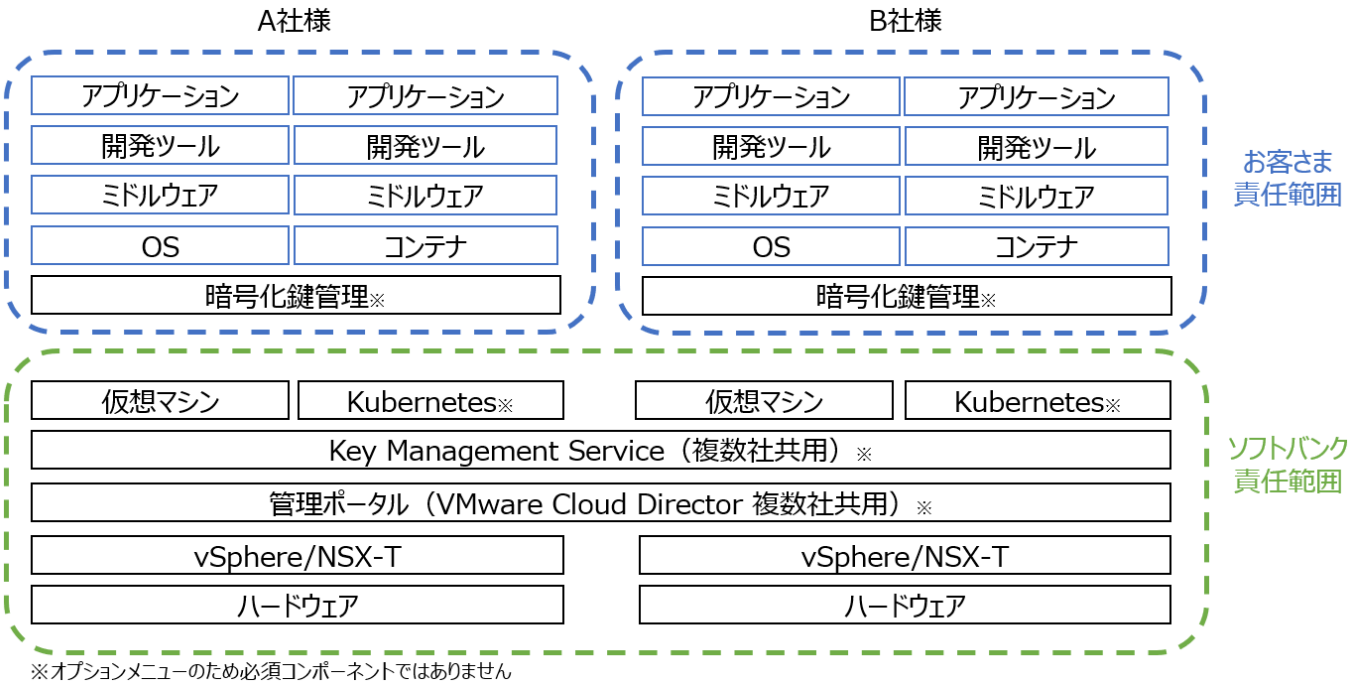
この章では、本サービスの概要および提供範囲について説明します。

1.1. サービス概要

本サービスは、VMware vSphere (以下、vSphere と記載します) をベースにしたプライベートクラウドサービスです。ソフトバンクデータセンター内にお客さま専有の物理サーバ、ストレージ、ネットワーク機器を用意し、仮想マシンの実行環境を提供します。お客さまは、本サービスで提供する各種管理ツールにアクセスし、仮想マシンやコンテナ(オプション)などの操作が可能です。

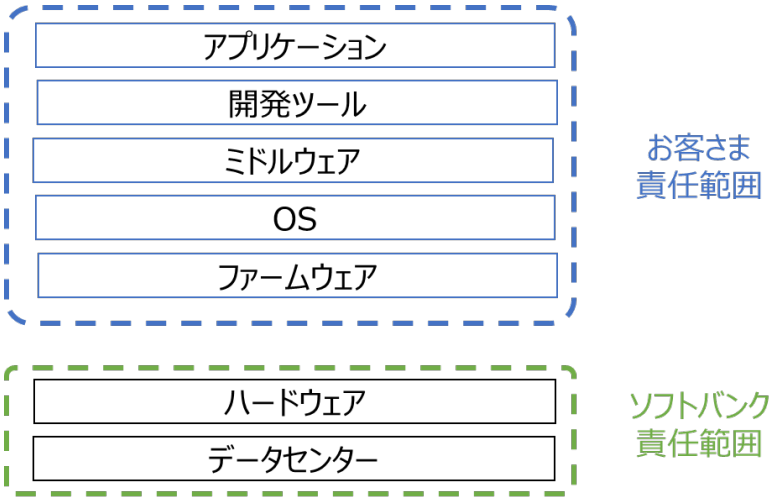
1.2. サービス提供範囲

ソフトバンクは、お客さまがサービスを利用するために必要なシステムリソースを、お客さま専有設備として提供します。物理ハードウェア(サーバ、ストレージ、ネットワークなど)の管理者権限はソフトバンクが所有します。基盤管理用ソフトウェア（詳細は「2.2.1. 管理パッケージ > 提供機能」）については、お客さまに一部の操作権限を付与します。具体的な操作権限につきましては、本書内各メニューの提供機能をご確認ください。下図青線箇所のコンポーネントにつきましては、お客さまの責任範囲となります。



なお、ベアメタルサーバにつきましては、下図青線箇所のコンポーネントがお客様責任範囲となります。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.



重要

- 本サービスをご利用いただくには、ソフトバンクネットワーク回線サービスのお申込みが別途必須となります。
- サービスに影響のある操作がありますので、設定の際は、必ず「ホワイトクラウド_ASPIRE_プライベートクラウド_ご利用ガイド」をご確認ください。
- 「ホワイトクラウド_ASPIRE_プライベートクラウド_ご利用ガイド」に記載されていない操作については、当社によるサーバの運用管理に影響を与える可能性があるため、お客さま責任のもと実施してください。
- サーバの運用管理に影響を与える操作を実施された場合、ソフトバンク判断で設定の変更・削除などの対応をする場合があります。

また、機器及びソフトウェアの管理区分は下記の通りとなります。

個々の説明については「構成一覧」をご参照ください。

種別	名称	管理区分
ハードウェア	サーバ	ソフトバンク
	ネットワークスイッチ	ソフトバンク
	Fibre Channel スイッチ (ストレージ用スイッチ)	ソフトバンク
ソフトウェア	vSphere	お客さま ソフトバンク
	ベアメタルサーバの BMC	お客さま
	ベアメタルサーバのファームウェア	お客さま
	NSX-T	お客さま ソフトバンク
	Aria Operations	ソフトバンク
	認証サーバ (Active directory)	ソフトバンク
	他サービス接続用 L2 セグメント	ソフトバンク

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

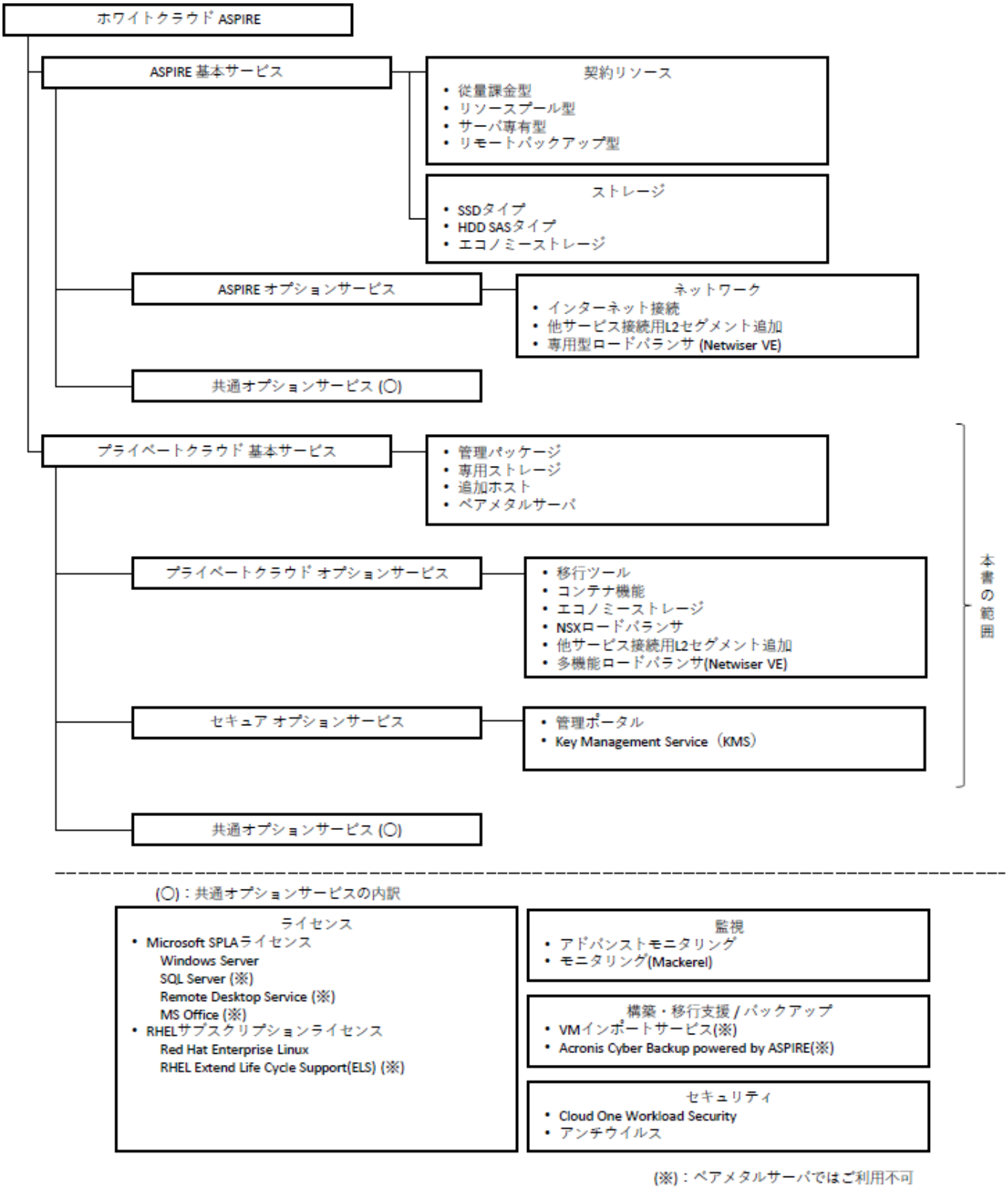
補足

- 本サービスのソフトウェアバージョンは「別紙１．本サービスにおけるソフトウェアバージョン」をご確認ください。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

1.3. 本サービスのメニュー体系

本サービスのメニュー体系は以下の通りです。



Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

2. サービス仕様

この章では、サービスメニューの内容や、サービスに関する注意事項について説明します。

2.1. サービスメニュー

本サービスでは、以下のサービスメニューを提供します。

基本サービス

基本サービスの内容は以下の通りです。

メニュー名	説明
管理パッケージ	お客さま専用サーバ 3 台(HA[1]分含む)、ネットワークスイッチ、ストレージ用 Fibre Channel スイッチをソフトバンクデータセンター内に用意し、VMware vSphere 7 による仮想化基盤として提供します。 本メニューは契約必須メニューとなります。 参照 「2.2.1. 管理パッケージ」
専用ストレージ	お客さまの要件に合わせ、専用の物理ストレージを提供します。本メニューは契約必須メニューとなります。 参照 「2.2.2 専用ストレージ」
追加ホスト	お客さまの必要システムリソース(CPU、メモリ)を追加するための物理サーバ（ESXi）です。お客さまの要件に合わせて必要な台数を提供します。 参照 「2.2.3 追加ホスト」
ベアメタルサーバ	お客さま専用サーバを OS や vSphere ESXi をインストールせずに提供します。 参照 「2.2.4 ベアメタルサーバ」

[1] 同一クラスタ内の ESXi で 1 台分の障害に耐えられるリソースが予約されています。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

オプションサービス

基本契約でご利用いただけるオプションサービスの内容は以下の通りです。

オプション名	説明
移行ツール （SaaS 型メニュー）	お客さまがオンプレミス環境で構築された vSphere 環境と本サービス間の仮想マシン移行ツールとして VMware HCX のライセンス提供および本サービス上での初期構築を提供します。 参照 「2.3.1 移行ツール」
コンテナ機能	VMware vSphere with Tanzu を使用して本サービス上にコンテナ機能を追加するオプションです。 参照 「2.3.2 コンテナ機能」
エコノミーストレージ	価格を抑えた大容量ストレージを提供するオプションです。 本オプションは複数のお客さまでご利用いただく共有ストレージでの構成となりますが、論理的に分割されているためセキュリティは確保されます。 参照 「2.3.3 エコノミーストレージ」
NSX ロードバランサ	NSX-T によるロードバランサ機能を提供します。「コンテナ機能」をご利用の際は必須メニューとなります。 参照 「2.3.4 NSX ロードバランサ」
他サービス接続用 L2 セグメント追加	インターネット接続および閉域網などの他サービスと接続するために必要なネットワークセグメントを追加するオプションメニューとなります。 参照 「2.3.5 他サービス接続用 L2 セグメント追加」
多機能ロードバランサ (Netwiser VE)	セイコーソリューションズ株式会社 (以下、セイコーソリューションズ社)が提供するロードバランサ「Netwiser Virtual Edition」です。 ワンアーム構成にて L4 サーバロードバランス（TCP/UDP）、L7 ロードバランス（HTTP/HTTPS）の機能を提供します。 参照 「2.3.6 多機能ロードバランサ(Netwiser VE)」

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

セキュアオプションサービス

ご利用いただけるセキュアオプションサービスの内容は以下の通りです。

オプション名	説明
管理ポータル	VMware Cloud Director（VCD）を使用し、セキュアに隔離され柔軟性に優れたクラウドサービスプラットフォームをご利用可能となります。 当社法人統合ポータルとの連携により 2 要素認証でのログインが提供されます。 重要　NSX Manager、vSphere へのアクセスは不可となり、管理ポータルからの操作となります。 参照　「2.4.1 管理ポータル」
Key Management Service（KMS）	本サービス上で作成される仮想マシンディスクを暗号化するための鍵をセキュアに管理できるサービスです。 すべての操作は管理ポータル（VCD）で実施します。 参照　「2.4.2 Key Management Service（KMS）」

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

ASPIRE 共通オプションサービス

基本契約でご利用いただけるホワイトクラウド ASPIRE との共通オプションサービスとなります。サービス内容の詳細は「ホワイトクラウド ASPIRE サービス説明書」をご参照ください。

なお、ベアメタルサーバでご利用可能な ASPIRE 共通オプションサービスにつきましては、「2.2.4. ベアメタルサーバ > ご利用可能な ASPIRE 共通オプションメニュー」を参照ください。

オプション名		説明
Microsoft SPLA ライセンス		
	Windows Server	仮想マシンのゲスト OS としてご利用いただくマイクロソフト社の Windows Server ライセンスをサブスクリプション形式で提供します。 ライセンス認証にはインターネット接続が必要となります。手順は「ホワイトクラウド_ASPIRE_プライベートクラウド_ご利用ガイド」をご確認ください。 ホワイトクラウド ASPIRE で提供中の「Windows Server 2008 Standard（32/64、R2）」については本サービスでは提供していません。
	SQL Server	本サービス上でご利用いただく SQL Server ライセンスをサブスクリプション形式で提供します。 ホワイトクラウド ASPIRE で提供中の「Microsoft SQL Server 2008 Standard、Enterprise、Web（32/64、R2）」については本サービスでは提供していません。
	Remote Desktop Service	本サービス上でリモートデスクトップサービス、またはターミナルサービスをご利用いただく際のクライアントアクセスライセンスを提供するサービスです。
	Microsoft Office	本サービス上で Microsoft Office をご利用いただく際のユーザ単位のアクセスライセンスを提供するサービスです。 ホワイトクラウド ASPIRE で提供中の「Microsoft Office 2010」については本サービスでは提供していません。
RHEL サブスクリプションライセンス		
	Red Hat Enterprise Linux	本サービス上でご利用いただく Red Hat Enterprise Linux OS をプリインストールしたテンプレート、およびインストールメディアを提供するサービスです。
	RHEL Extend Life Cycle Support	RHEL バージョン 6 のメーカ延長サポートをサブスクリプション方式でご提供します。
アドバンストモニタリング		お客さまの仮想マシン 上に導入されたゲスト OS に対し、お客さまに代わって監視を実施するサービスです。
モニタリング（Mackerel）（SaaS 型メニュー）		はてな社が提供する Mackerel をご利用いただき、仮想マシン監視及び外形監視(URL 監視)を行う SaaS 型モニタリングサービスです。
VM インポートサービス		お客さま環境から本サービスへの移行を伴う場合に、ソフトバンクにて仮想マシンイメージのインポート作業を代行します。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

Acronis Cyber Backup powered by ASPIRE （SaaS 型メニュー）	アクロニス社が提供する Acronis Cyber Backup を本サービス上でご利用いただけるオプションサービスです 。
Cloud One Workload Security （SaaS 型メニュー）	トレンドマイクロ社が提供するクラウド環境保護ソリューション「Trend Micro Cloud One」のうち、仮想マシンセキュリティ対策向け製品である「Workload Security」をご利用いただけるサービスです。
アンチウイルス （SaaS 型メニュー）	アンチウイルスオプションは、ソフォス社が提供する Central Server Protection をご利用いただきアンチウイルス機能が使えるサービスです。

補足

- 本サービスで提供するライセンスの種類は「仮想マシンテンプレート/ISO イメージ」に記載のバージョンとなります。「ホワイトクラウド ASPIRE」とは異なりますのでご注意ください。
- 本サービスはお客さま専用設備になるため、Windows Server ライセンスの持ち込みが可能です。
- Windows 10 ライセンスの持ち込みは Windows E3（アップグレードライセンスとソフトウェアアシュアランス（SA））または VDA を保有であれば可能です。

  Red Hat Enterprise Linux ライセンスの持ち込みは Red Hat Cloud Access の申請が必要です。詳細は「ホワイトクラウド ASPIRE サービス説明書」 > 「 4.2.RHEL サブスクリプションライセンス」の項目をご確認ください。
- 持ち込みされたライセンスについてのサポートは各メーカおよびソフトウェアベンダーへお問い合わせください。
- ライセンスオプションをお申込みになった OS、アプリケーションについてはソフトバンク提供のテンプレートの使用が必須となります。

設定変更作業

下記作業はソフトバンクでのオペレーションが必要となるため、必要に応じてソフトバンク営業・SE 経由でお申込みください。

設定項目	説明
スタティックルート追加	• NSX-T Tier-0 ゲートウェイにスタティックルートを追加
ユーザアカウントの変更・削除	• 基盤管理用ソフトウェアへアクセスするアカウントに対する権限やアカウント名の変更、アカウントの削除 • 管理ポータルご利用時はお客さま操作でユーザアカウント（管理ポータル用アカウント、法人統合ポータル用アカウント）の追加、削除が可能となるためお申込不要となります。それぞれの操作方法は「ホワイトクラウド ASPIRE プライベートクラウド ご利用ガイド」をご参照ください。
外部コンテンツライブラリ [2]追加	• vCenter Server での外部コンテンツライブラリ URL 名前解決設定の追加

[2] お客さま vSphere 環境で使用しているコンテンツライブラリなど、本サービス以外で作られているコンテンツライブラリを指します。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

	• 外部コンテンツライブラリとの同期に必要な通信許可設定の追加
仮想マシンテンプレート / ISO イメージ復旧	• 削除された「仮想マシンテンプレート / ISO イメージ」をお客さまコンテンツライブラリに復旧

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

2.2. 基本サービス

本サービスでは、基本サービスとして以下を提供します。

- 管理パッケージ
- 専用ストレージ
- 追加ホスト
- ベアメタルサーバ

2.2.1. 管理パッケージ

お客さま専用にサーバ、ネットワークスイッチ、FC スイッチをソフトバンクデータセンター内に用意し、VMware vSphere による仮想化基盤を提供します。

契約単位

1 式(後述の「構成一覧」を参照)

重要　数量の追加は可能ですが、削減することはできません

補足
- 管理パッケージ 1 式は vCenter 上、1 クラスタとして提供します。
- 追加の管理パッケージは別クラスタでのご提供となります。

契約上限

1 契約当たり最大 4 式までご契約可能です。

契約期間

1 年

参照 「4.契約条件・課金方式 > 違約金」

補足　「管理パッケージ」「専用ストレージ」「追加ホスト」の契約期間は同一になります。

課金方式

月額固定

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

構成一覧

管理パッケージには、ソフトバンクが管理をするために必要なリソース(以下、管理用リソース)とお客さまが仮想マシン作成可能なリソースが含まれます。管理パッケージの構成内容は以下の通りです。機器は冗長構成となります。同契約内で管理パッケージを追加する場合、追加の管理パッケージはハードウェアと ESXi のみの提供となります。

種別	名称	数量	内容
ハードウェア	サーバ	3	管理用仮想マシンおよびお客さまリソース用のサーバです。 CPU：3.6GHz×8 コア×2 ソケット メモリ：256GB (HA リソース含む)
	FC スイッチ	2	サーバとストレージ間を Fibre Channel で接続するための中継装置です。
	ネットワークスイッチ	2	サーバ間および他サービスとのネットワーク接続をするための中継装置です。
ソフトウェア	vSphere	1	仮想基盤を管理するためのソフトウェアとなります。 2 式目以降は ESXi のみの提供となります。
	NSX-T	1	ネットワーク仮想化ソフトウェアです。 2 式目以降には含まれません。
	Aria Operations	1	vSphere 基盤全体の利用状況モニタリングやヘルスチェック、およびトラブルの事前予測などの機能を提供するツールとして VMware Aria Operations（旧名 VMware vRealize Operations）をご利用いただけます。 2 式目以降には含まれません。
	認証サーバ	2	VMware vCenter Server にログオンするための認証サーバ（Active directory）です。 2 式目以降には含まれません。 管理ポータルご利用時は構築されません。
	他サービス接続用 L2 セグメント [3]	1	インターネット接続および閉域網接続するために必要なネットワーク接続用セグメントです。別途、ソフトバンクのネットワーク回線サービスをお申し込みいただく必要があります。 2 式目以降には含まれません。

[3] 2 つ目以降の管理パッケージには提供されません。必要に応じてオプションメニュー「他サービス接続用 L2 セグメント追加」をお申込みください。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

補足

- 「他サービス接続用 L2 セグメント」にて指定セグメントを変更する場合は、「基盤管理用ソフトウェア」にアクセスできるセグメントを指定してください。
- 上記、セグメント変更時には「基盤管理用ソフトウェア一覧」へのアクセスが一時的にできなくなる時間が発生します。

お客さま利用可能リソース

管理用リソースは、vCenter 上では非表示となっており、お客さまからはご確認できません。なお、オプションメニューご利用の場合、管理用リソースの必要容量が追加されるためお客さま利用可能リソースが減少します。それぞれの必要システムリソースは、各オプションの項目をご確認ください。また、管理パッケージを追加した際は、必要に応じて管理用仮想マシンの使用リソースを追加します。管理パッケージ内でお客さまが利用可能なリソースの目安は以下の通りです。

種別	お客さま利用可能リソース
CPU	約 25GHz
メモリ	約 250GB
ストレージ	「2.2.2 専用ストレージ」をご参照ください。

重要

お客さま利用可能リソースは、管理パッケージに含まれるソフトウェアバージョンのアップデートに伴い、変動する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

上記リソース容量は、2022 年 10 月時点の数値です。

提供機能

お客さまテナントの運用にあたり、以下のソフトウェアより構成される「基盤管理用ソフトウェア」をご利用いただけます。

■ 基盤管理ソフトウェア一覧

vSphere

NSX-T

Aria Operations

■ 利用要件

本サービスで提供している機能をご利用いただくには、各管理ツールへのアクセス経路が必要になります。各管理ツールへのアクセスは、ヒアリングシートにご記入いただいたネットワークからのみ可能となります。また、グローバル IP アドレスの指定はできません。

■ vSphere 基本機能

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

vCenter Server を操作するための vSphere Client (HTML5)を提供します。

➢ ご利用要件（vSphere Client にアクセスするクライアント要件になります）

サポートされるオペレーティングシステム	Windows 32 or 64 ビット MAC OS
サポートされるブラウザのバージョン	Google Chrome 89 以降 Mozilla Firefox 80 以降 Microsoft Edge 90 以降
最新の情報については「vSphere Client のソフトウェア要件」をご確認ください。	

● ご利用アカウントのユーザ権限

本サービス開通時、下記それぞれの権限を付与したユーザアカウントを 1 つずつご提供します。

ユーザアカウント名はヒアリングシートにご記入ください。

ユーザ権限	説明
CustomerAdmins	下記、「お客さま操作範囲」の項目を設定可能です。
Customers	読み取り専用ユーザとなります。

● お客さま操作範囲

本サービスでご利用いただく vSphere Client では提供する操作範囲は以下の通りとなります。各項目の詳細については「ホワイトクラウド_ASPIRE_プライベートクラウド_ご利用ガイド」 > 「5.VMware vCenter Server の操作」をご確認ください。

項目	お客さま操作可能範囲
ESXi ホスト	**・パフォーマンスチャートの参照** ESXi の CPU、メモリなどシステムリソースのパフォーマンスデータを参照することが可能です。
データストア	**・データストア内のファイル操作** データストアファイルブラウザを使用してファイルの参照、フォルダ作成、削除、ファイルのアップロードおよびダウンロードが可能です。
ネットワーク	**・NSX-T で作成した Overlay Network の参照** お客さまが作成した Overlay Network を参照することが出来ます。管理操作については NSX Manager からの操作となります。
クラスタ	**・リソースプール設定** リースプールの作成、削除、編集が可能です。 **・フォルダ設定** 仮想マシンおよびテンプレートのフォルダ作成、削除、編集が可能です。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

仮想マシン	**・仮想マシンの作成・管理** 仮想マシンの作成、削除やスナップショットの管理などが可能です。
	・仮想マシンアラーム/イベント/タスクの参照 vSphere Client インベントリ内の「タスクおよびイベント」タブに実行中や完了のタスク、発行された仮想マシンアラートを確認することが可能です。
コンテンツライブラリ	ISO イメージ、OVA/OVF ファイル、仮想マシンテンプレートなどのファイルをインポートし、管理・使用することが可能です。 また、外部のコンテンツライブラリと同期することで、仮想マシンテンプレート以外のファイルを参照することが可能になります。
タグの操作	仮想マシンなどにタグを付けて並べ替えや検索を行うことが可能です。

● 非サポート操作範囲

本サービスでは下記の操作は非サポートとなります。

項目	非サポート操作範囲
vCenter API のご利用	API の作成、利用
デベロッパーセンター	デベロッパーセンター機能の利用

■ NSX-T 基本機能

仮想ネットワークを設定するための NSX Manager を提供します。

● ご利用要件（NSX Manager にアクセスするクライアント要件になります）

サポートされるオペレーティングシステム	Windows 10 MAC OS X 10.13、10.14 Ubuntu 18.04
サポートされるブラウザのバージョン	Google Chrome 80 Mozilla Firefox 72 Microsoft Edge 80(Windows 10 のみ) Apple Safari 13 (Mac OS X のみ)
最新の情報については「NSX Manager のシステム要件」 ＞ 「NSX Manager のブラウザのサポート」の項をご確認ください。	

● ユーザアカウント

vSphere Client と同一アカウントを使用します。

● お客さま操作範囲

本サービスでご利用いただく NSX Manager では提供する操作範囲は以下の通りです。各項目の詳細については「ホワイトクラウド_ASPIRE_プライベートクラウド_ご利用ガイド」をご確認ください。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

項目	お客さま操作可能範囲
Tier-1 ゲートウェイ	**・Tier-1 ゲートウェイの作成、削除、編集** お客さまテナントで作成された仮想マシンのゲートウェイとなる Tier-1 ゲートウェイを作成することができます。
セグメント	**・Overlay Network の作成、削除、編集** プライベートネットワークとして使用できる Overlay Network を作成することができます。作成した Overlay Network は仮想マシンを接続することができます。 **・セグメントプロファイルの作成、削除、編集** 作成した Overlay Network で利用する QoS 設定などを定義します。
VPN	**・IPSec VPN の設定** 本サービスではポリシーベースの IPSec VPN の設定をすることができます。
NAT	**・NAT の設定** SNAT / DNAT の設定をすることができます。
DNS	**・DNS の設定** DNS フォワーダーを設定することができます。
DHCP	**・DHCP の設定** 作成した Overlay Network で利用する DHCP サーバを設定することができます。
ネットワーク プロファイル	**・ゲートウェイ QOS プロファイルの作成、削除、編集** Tier-1 ゲートウェイのトラフィックを制限するためのプロファイルを設定することができます。
分散ファイアウォール	**・分散ファイアウォールの設定** 分散ファイアウォールを利用することで仮想マシン単位のトラフィックを制限します。
ゲートウェイ ファイアウォール	**・ゲートウェイ ファイアウォールの設定** ゲートウェイ ファイアウォールを利用することで Tier-1 ゲートウェイを通るトラフィックの制限をかけることができます。
セキュリティ プロファイル	**・セキュリティ プロファイルの作成、削除、編集** ファイアウォールの動作を調整するプロファイル(セッションタイマー、フラッド防止、DNS セキュリティ）の設定をすることができます。
インベントリ	**・インベントリの作成、削除、編集** 各種設定で利用するサービス定義や、宛先や送信元として指定するグループ(仮想マシンや IP、セグメントなどを含めることが可能)の設定ができます。

補足　Tier-0 ゲートウェイは外部ネットワーク接続用にお客さまごとに提供します。作成や変更についてはヒアリングシートに記載いただき、ソフトバンクが実施します。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

● 非サポート操作範囲

NSX Manager の製品仕様上、操作画面上で本サービスではサポートされない機能が一部表示されています。下記表に非サポートの操作は以下の通りです。

項目	非サポート操作範囲
セグメント	・Edge ブリッジプロファイル [4]の設定 ・メタデータ プロキシの設定 [5]
VPN	・IPSec VPN ルート ベースの設定 ・L2 VPN の設定 ・EVPN[6]の設定 ・EVPN / VXLAN VNI プールの設定
ネットワーク プロファイル	・IPV6 プロファイルの設定 ・マルチキャストプロファイルの設定 ・BFD プロファイル [7]の設定

● 注意事項

お客さま設備の VPN 接続対応機器のサポート、およびサイト・ツー・サイト VPN 接続確立の保証はしません。

Overlay Network において、非対称通信（トラフィックの行きと帰りが別経路となる通信）は通信が出来なくなる場合があります。対象通信（トラフィックの行きと帰りが同一経路となる通信）となるように OS・ネットワークの設計、設定をお願いします。

重要

下記の機能は正常なサービス提供に支障をきたすため禁止事項とします。

・「VLAN セグメント」の作成

・仮想マシン名に「sb_」の付いた管理仮想マシンに対しての操作

・Tier-0 ゲートウェイの操作

[4] NSX Edge クラスタが Overlay Network へのレイヤー 2 ブリッジを提供する機能

[5] OpenStack Nova API サーバから VM インスタンス固有のメタデータが取得できる機能

[6] Ethernet VPN の略

[7] 転送パスの障害を検出することができるプロトコル

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

- 必要システムリソース

  NSX Manager で使用するリソースは下記となります。クラスタ構成となるため、3 台分のリソースが必要となります。

アプライアンスのサイズ	消費リソース×3 台 （vCPU/Mem）	ストレージサイズ×3 台
中規模	（6vCPU　/　24GB）×3	300GB ×3
大規模	（12vCPU　/　48GB）×3	300GB ×3

補足

- NSX Manager は新規お申込み時、「管理パッケージ」が 1 つの場合「中規模」でのご提供となります。
- 「管理パッケージ」の 2 つ目をお申込みいただいた際に「大規模」へスペックアップします。
- スペックアップはお客さまへ事前通知の上、ソフトバンクが実施しますが作業時 NSX Manager へのログインができない時間帯が発生します。

NSX Edge で使用するリソースは下記となります。

冗長構成となるため、各リソースで 2 台分必要となります。

アプライアンスのサイズ	消費リソース×2 台 （vCPU/Mem）	ストレージサイズ×2 台
大規模	（8vCPU　/　32GB）×2	200GB ×2

■　Aria Operations 基本機能

本サービスではパフォーマンス監視ツールとして VMware Aria Operations を提供します。Aria Operations は vSphere 基盤全体の利用状況モニタリングやヘルスチェック、およびトラブルの事前予測などの機能を提供するソフトウェアです。本機能は障害時などの調査対応のため、必要に応じてソフトバンクが使用する場合があります。

2023 年 4 月に vRealize Operations から Aria Operations に改称されました。

- ご利用要件（Aria Operations Manager にアクセスするクライアント要件になります）

  Web ブラウザによるアクセスが可能です。VMware 公式によるサポートブラウザは下記となります。

  Google Chrome : バージョン 104 および 105

  Mozilla Firefox : バージョン 104

  Microsoft Edge : バージョン 104 および 105

  Safari : バージョン 15 および 16

最新の情報については「ソリューションとブラウザのサポート」をご確認ください。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

- ユーザアカウント
  vSphere Client と同一アカウントを使用します。
  管理ポータルをご利用時は当社指定のアカウントを Aria Operations 用に払い出します。
  アカウント名は開通通知書をご参照ください。

- お客さま操作範囲
  本サービスでご利用いただく Aria Operations では提供する操作範囲を制限しています。下記表にお客さま操作可能な範囲を記載します。

項目	お客さま操作可能範囲
分析機能	リソース配分の最適化やキャパシティ評価、トラブルシューティングを行うことが可能です。
ダッシュボード	システム稼働状態の把握を行えます。 カスタムダッシュボードの作成や、レポートの生成を行うことも可能です。
稼働状況の確認	Aria Operations Manager でデータ収集している個々のオブジェクトを指定して、稼働状況を参照することが可能です。

- Aria Operations での管理対象
  本サービス内で vCenter 上に表示されるオブジェクトが管理対象となります。

- 必要システムリソース
  ご利用環境の規模により必要システムリソースは変動します。ご契約いただいたホスト台数に基づきソフトバンクでサイジングした vROps Manager をシングルノードでデプロイさせていただきます。消費されるリソースは下記の表をご参照ください。

ご契約ホスト数	消費リソース (vCPU/Mem)	ストレージサイズ	管理対象仮想マシン数 (目安)
3 台 ～ 27 台	4vCPU / 16GB	600GB	～ 3500
28 台 ～ 85 台	8vCPU / 32GB	1,420GB	～ 11000
86 台 ～ 140 台	16vCPU / 48GB	2,270GB	11000 ～

補足
- 管理パッケージを追加された際には vROps Manager のスペックアップが必要となりますので、事前通知の上ソフトバンクにて増設作業を実施します。
- パフォーマンスデータの保存期間は 90 日となります。

■ 仮想マシンテンプレート / ISO イメージ

下記ゲスト OS をインストールした仮想マシンテンプレートまたは ISO イメージを提供します。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

- 仮想マシンテンプレート

テンプレート名	説明
Win2012 Std 64bit	Windows Server 2012 Standard 64bit
Win2012 Std R2 64bit	Windows Server 2012 R2 Standard 64bit
Win2016 Std 64bit	Windows Server 2016 Standard 64bit
Win2019 Std 64bit	Windows Server 2019 Standard 64bit
Win2022 Std 64bit	Windows Server 2022 Standard 64bit
NonSupport CentOS76	CentOS 7.6 (NonSupport)
RHEL68	Redhat Enterprise Linux 6.8
RHEL69	Redhat Enterprise Linux 6.9
RHEL72	Redhat Enterprise Linux 7.2
RHEL74	Redhat Enterprise Linux 7.4
RHEL84	Redhat Enterprise Linux 8.4

- ISO イメージ

ISO イメージ	説明
Windows Server	2012、2012 R2、2016、2019、2022 から選択可能 全て Standard Edition
SQL Server 2012 32/64-bit	Standard Edition、Enterprise Edition、Web Edition から選択可能
SQL Server 2014 32/64-bit	
SQL Server 2016 64-bit	
SQL Server 2017 64-bit	
SQL Server 2019 64-bit	
Microsoft Office	2013、2016、2019 から選択可能
NonSupport_CentOS 6.8 Disk1	オープンソースソフトウェアのご提供
NonSupport_CentOS 6.8 Disk2	
NonSupport_CentOS 7.2	
NonSupport_CentOS 7.6	

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

NonSupport_Ubuntu 14.04	
Red Hat Enterprise Linux	6.8、6.9、7.2、7.4、8.4 から選択可能 ライセンスを持ち込みでご利用される場合はこちらをご利用ください
AcronisBootable12.5	ASPIRE 共通オプションメニューの「Acronis Cyber Backup powered by ASPIRE」で使用します

- 注意事項

- 事前作成済みのコンテンツライブラリ上への提供となりますので、お申込みいただいた分のストレージが
  消費されます。不要となったテンプレートは削除いただけますが、再度ご利用になる場合はお申し込みが必要となります。
- 「RHELxx」を選択される場合は ASPIRE 共通オプションメニューの「Red Hat Enterprise Linux ライセンス」が必要となります。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

ゲスト OS 利用時の注意事項

VMware 公式の互換性ガイドに準じてゲスト OS を提供します。VMware の互換性ガイドは、Web サイト「VMware Compatibility Guide」を参照してください。

- 仮想マシン上の OS インストール後は必ず VMware Tools[8] のインストールをお願いします。手順などについては「ホワイトクラウド_ASPIRE_プライベートクラウド_ご利用ガイド」を参照してください。
- 上記対応の有無によらず、全てのゲスト OS において、ゲスト OS、およびゲスト OS 上で稼動するアプリケーションの動作保障、およびサポートは本サービスでは実施しません。
- Windows Server/Red Hat Enterprise Linux を本サービスでご利用いただく場合は各社のライセンスポリシーに従ってください。なお、ライセンスオプションをご契約の場合、ソフトバンク提供のテンプレートをご利用いただく必要があります。
- メーカサポート切れの OS に関してはメーカ次第で提供できなくなる場合がありますので、サポート対象の OS へのアップグレードを推奨します。
- マイクロソフト社のゲスト OS ライセンス認証はお客さまにて実施いただく必要があります。インターネット通信が必須となりますので、別途ご用意ください。
- Red Hat Enterprise Linux をソフトバンク RHUI サーバに接続する際はソフトバンクが提供するインターネット回線が必須となります。

2.2.2. 専用ストレージ

お客さま専用にピュア・ストレージ社製ストレージ装置を提供します。テナントの管理用リソース、お客さまが作成されたリソースを収容するストレージとなります。

契約単位

1 台（1 台当たり 11TB からのご利用となり、11TB、31TB、31TB の追加が可能で、最大 84TB までとなります。）

重要　容量および台数を削減することはできません

契約上限

1 契約当たり 4 台まで

契約期間

1 年

参照「4.契約条件・課金方式 > 違約金」

[8] vSphere 基盤上で仮想マシンを効率的に運用するためのツール。ゲスト OS に対応したドライバーなどが含まれる。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

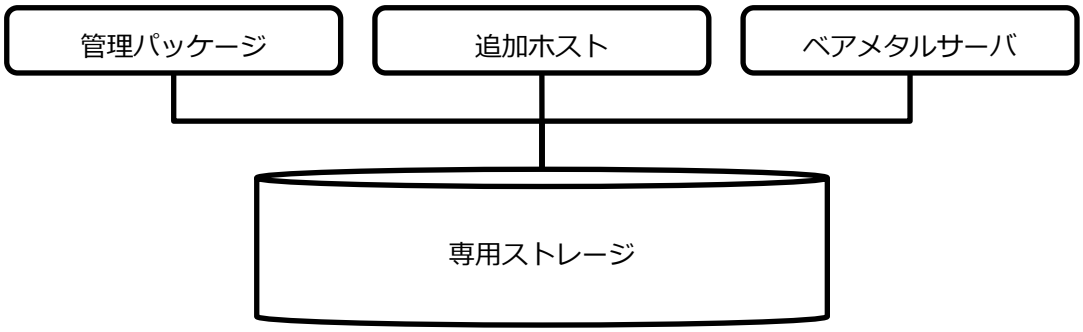
補足　「管理パッケージ」「専用ストレージ」「追加ホスト」の契約期間は同一になります。

課金方式

月額固定

提供内容

お客さま専有ストレージを筐体ベースで提供します。本ストレージは管理パッケージ、追加ホストおよびベアメタルサーバからご利用いただけます。



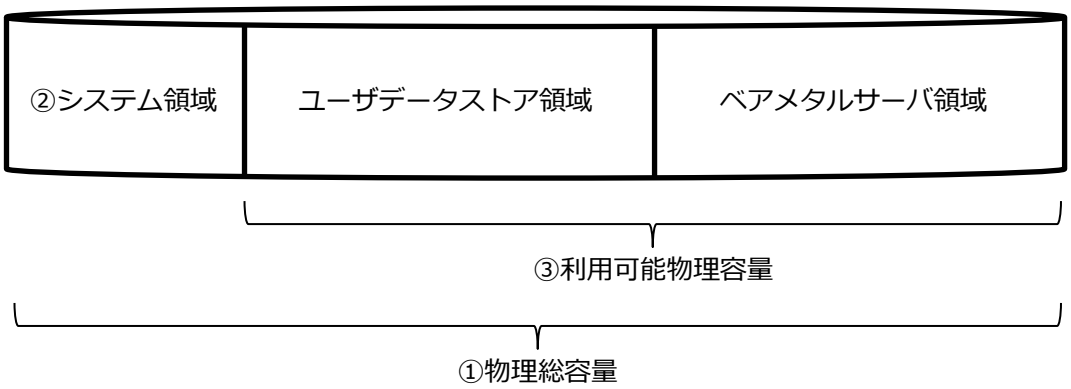
専用ストレージ接続イメージ

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

提供容量

vCenter 上のデータストアサイズは、ご契約いただいた物理容量によって異なります。お客さまがご利用いただけるストレージ容量はシステム用として必要なオーバーヘッドを除いた「利用可能物理容量」となります。ご利用状況により異なりますが、通常利用時における目安は以下の通りです。

	22TB	44TB	53TB	75TB	84TB
①物理総容量	19.17 TiB	38.34 TiB	46.01TiB	65.18 TiB	72.85 TiB
②システム領域	7.67 TiB	11.50 TiB	16.62TiB	19.15 TiB	21.85 TiB
③利用可能物理容量（①－②）	11.50 TiB	26.84 TiB	29.39TiB	46.03 TiB	51.00 TiB
データストア容量（vSphere）	32 TiB	32TiB			



仮想マシンなどの作成リソースとしてご利用いただける容量は「利用可能物理容量」から重複排除やデータ圧縮が実施された数値となります。これらの倍率につきましては、ご利用状況により変動します。

例）重複排除圧縮が 2.5 倍効いた場合、22TB のメニューでは利用可能容量が約 28TB となります。

「利用可能物理容量」と合わせて「Aria Operations」の画面よりご確認ください。

参照 「ピュア・ストレージのデータ削減技術」（参考サイト）

- 注意事項

- 格納されるデータの種類によって重複排除率が変わるため、データストアはあらかじめ大きめのサイズで作成されます。
- メニュー名のサイズは物理容量です。重複排除圧縮を利用しているため実際にご利用いただける容量とは異なります。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

- 本書ではストレージ容量の単位を「TiB」と記載しておりますが、実際のシステムおよび「ホワイトクラウド ASPIRE プライベートクラウド ご利用ガイド」では「TB」と記載しています。
- お申込みいただいたメニューごとに管理用として消費される領域がありますので、メニューの組み合わせにより実際にご利用いただける容量が異なります。消費量は各メニュー記載ページを参照してください。
- vSphere 上で提供するデータストアのサイズは、お客さまにて実際にご利用いただける容量を保証するものではありません。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

2.2.3. 追加ホスト

お客さまの要件に合わせてホスト(専用物理サーバ)を増設し、CPU、メモリのコンピューティングリソースを追加提供します。

契約単位

1 台

契約上限

1 契約当たり最大 128 台まで契約できます。

管理パッケージお申込み数	管理パッケージで提供されるホスト（台）	追加ホスト上限（台）(ベアメタルサーバを合わせた上限)	合計（台）
1	3	32	35
2	6	64	70
3	9	96	105
4	12	128	140

契約期間

1 年

参照 「4.契約条件・課金方式 > 違約金」

補足 「管理パッケージ」「専用ストレージ」「追加ホスト」の契約期間は同一になります。

課金方式

月額固定

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

構成機器

追加ホストをご契約いただくことで、お客さまリソースの追加が可能です。

種別	名称	数量	内容
ハードウェア	サーバ	1	お客さまリソース用のサーバですが、管理用ソフトウェアも搭載されます。 CPU：3.6GHz×8 コア×2 ソケット メモリ：256GB

お客さま利用可能リソース

追加ホストでお客さまが利用可能なリソースの目安は以下の通りです。

種別	お客さま利用可能リソース
CPU	約 45GHz
メモリ	約 230GB

☑重要

お客さま利用可能リソースは、管理パッケージに含まれるソフトウェアバージョンのアップデートに伴い、変動する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

上記リソース容量は、2022 年 10 月時点の数値です。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

2.2.4. ベアメタルサーバ

物理サーバに OS や仮想基盤をインストールせずに提供します。

前提条件

管理パッケージ、および専用ストレージのご契約が必要です。ベアメタルサーバ単体でのご契約はできません。

契約単位

1 台

契約上限

1 契約当たり最大 128 台まで契約できます。

管理パッケージお申込み数	管理パッケージで提供されるホスト（台）	上限（台） (追加ホストを合わせた上限)	合計（台）
1	3	32	35
2	6	64	70
3	9	96	105
4	12	128	140

契約期間

1 年

参照 「4.契約条件・課金方式 > 違約金」

補足 「管理パッケージ」「専用ストレージ」「追加ホスト」の契約期間は同一になります。

課金方式

月額固定

スペックおよび物理構成

スペックは以下の通りです。

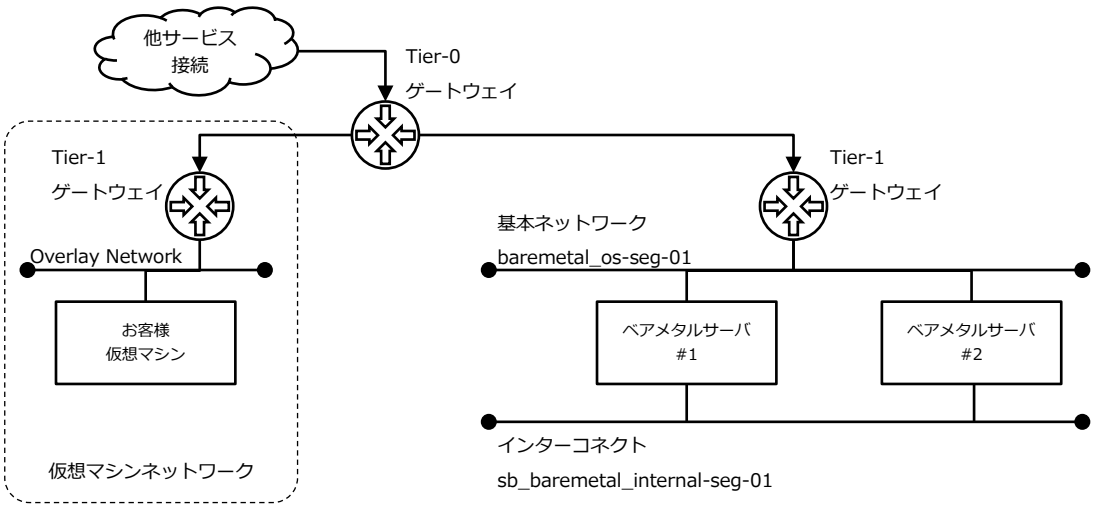
※提供時期によりスペックが異なる場合があります。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

メニュー	ベアメタルサーバ-8c	ベアメタルサーバ-16c
サーバモデル	Lenovo SR650 V2	
CPU	8 コア 2.8GHz × 1CPU	8 コア 3.6GHz × 2CPU
メモリ	64GB	256GB
ストレージ	ディスクレス 補足 プライベートクラウドの専用ストレージをご契約の上、任意の容量をベアメタルサーバに割り当ててご利用いただきます。	
ネットワークインタフェース	10Gbps × 2(冗長 9)	
HBA	HBA × 2(冗長)	
PSU	PSU × 2(冗長)	

論理構成

論理構成は以下の通りです。



[9] ベアメタルサーバのネットワークインタフェースは冗長構成となっておりますが、冗長化を有効にするには OS 上での冗長化設定が必要です。OS 上にてネットワークの冗長化設定を実施してください。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

新規での本サービスご契約と同時にベアメタルサーバもお申し込みの場合は、当社側にて構築する Tier-1 ゲートウェイに接続いただく形になります。

ストレージの割り当て

本サービスで提供するベアメタルサーバ本体に内蔵ディスクは搭載されません。管理パッケージと合わせてご契約いただく専用ストレージの領域から任意のボリュームを割り当てご利用いただきます。

専用ストレージの空き容量をご確認いただき、ベアメタルサーバに割り当てる必要な容量を確保の上お申込をお願いします。

BMC(サーバ管理ソフトウェア)

サーバに標準搭載される BMC をご提供します。BMC を用いることにより、Web ブラウザ経由でベアメタルサーバのコンソール操作や電源制御等を実施いただくことが可能です。

BMC の全操作権限をお客さまに付与しますが、一部の操作においてはサービス運用に支障をきたす箇所もございますので、操作可能範囲を制限させていただきます。具体的な操作方法、および可能範囲につきましては、「ホワイトクラウド_ASPIRE_プライベートクラウド_ご利用ガイド」を参照してください。

ファームウェア

ベアメタルサーバの BIOS や RAID カードにはファームウェアが搭載されます(メーカ推奨バージョンとなります)。搭載されるファームウェアの管理につきましてはお客さまにてご対応をお願いします。

サーバベンダ	ファームウェア情報確認サイト	備考
Lenovo	https://datacentersupport.lenovo.com/jp/ja	左記サイトにて、下記流れにてご確認ください。 ① 「製品を表示」欄の「サーバー」をクリック ② 「シリーズを選択」欄にて「ThinkSystem」を選択 ③ 「サブシリーズを選択」欄にて「SR650 V2」を選択 ④ 「マシンタイプを選択」欄にてマシンタイプを選択

ベアメタルサーバ設定変更(ベアメタルサーバ用オプションメニュー)

ボリュームの追加や変更を行いたい場合のオプションとなります。下記種別に応じお申込ください。

種別	内容
ボリューム追加	ベアメタルサーバにボリュームを追加接続
ボリューム削除	ベアメタルサーバからボリュームを削除

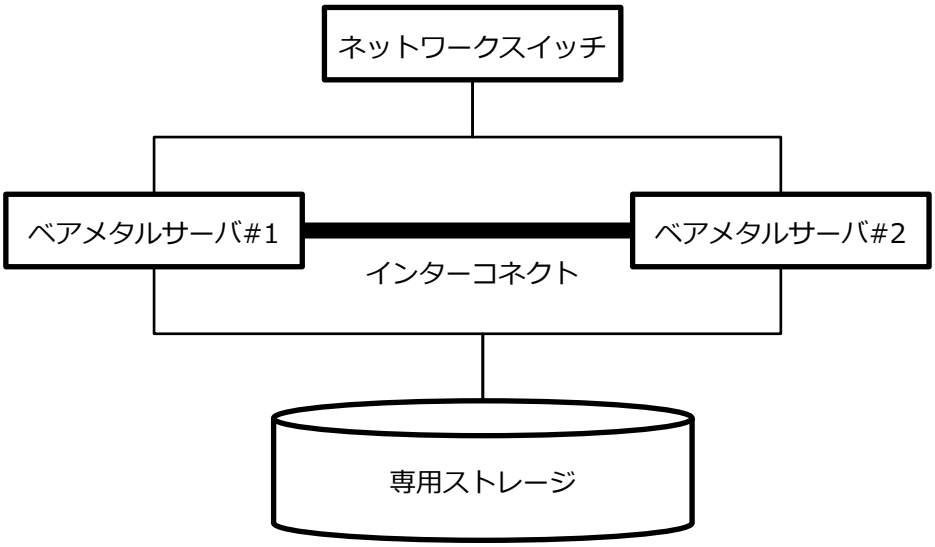
Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

	※お客さまにて事前に OS 側からディスクの切り離しをお願いいたします。
ボリュームサイズ変更	ベアメタルサーバに接続済みのボリュームサイズを拡大 ※縮小はできません。
ボリューム付替	ベアメタルサーバに接続済みのボリュームを、別のベアメタルサーバに切り替えて接続 ※お客さまにて事前に OS 側から切り替え元のディスクの切り離しをお願いいたします。

インターコネクト(ベアメタルサーバ用オプションメニュー)

ベアメタルサーバ間の接続のみに用いるネットワークです。インターコネクト用ネットワーク(外部接続不要のサーバ間通信用ネットワーク)接続を構成します。

管理パッケージ 1 契約あたりに設定できるインターコネクト構成のベアメタルサーバは、最大 8 台までとなります。実際の接続はベアメタルサーバ間の直結ではなく、ネットワークスイッチを経由した接続となります。



ライセンスのご利用

下記 OS ライセンスを提供しています。また、お客さまによるお持ち込みも可能ですが、ライセンス提供元による制限がある場合もございますので、適宜ご確認をお願いします。

なお、ベアメタルサーバの提供モデル変更により、ご利用いただける OS のバージョンやエディションが異なる場合があります。

サーバベンダ	OS 互換確認サイト	備考

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

Lenovo	https://lenovopress.lenovo.com/osig	左記サイトにて「SR650 V2」を選択しご確認ください。

■ Microsoft SPLA ライセンス

- 提供方式

  当社による初期インストールを実施の上、ご提供します(有償)。当社作業実施に当たり必要な OS 設定情報につきましてお申込時に確認しますので、ご回答をお願いします。

- 提供バージョン/エディション

  Windows Server 2016 Standard

  Windows Server 2019 Standard

  Windows Server 2022 Standard

- 注意事項

  カスタムインストール(ドライバの組み込み等)は実施しません。

  初期インストール後当社ではバックアップを実施しませんので、必要に応じ、お客さまにてバックアップの取得をお願いします。

  初期インストール実施前にサーバのシャットダウンをお願いします。シャットダウン日時につきましては当社営業とご調整をお願いいたします。

  再インストールをご希望の場合、当社作業日までにサーバのシャットダウンをお願いします。

  再インストールにつきましては、初期インストールと同額にて承ります。

■ RHEL サブスクリプションライセンス

- 提供方式

  当社よりライセンスを提供しますので、お客さまにてインストールをお願いいたします。

- 提供バージョン/エディション

  Red Hat Enterprise Linux 7.X ： 7.9

  Red Hat Enterprise Linux 8.X ： 8.2～8.7

  Red Hat Enterprise Linux 9.X ： 9.0～9.1

ご利用可能な ASPIRE 共通オプションメニュー

ベアメタルサーバ上でご利用可能な ASPIRE 共通オプションサービスは以下の通りです。

メニュー種別	メニュー名	備考
ASPIRE 共通オプションサービス	• アドバンストモニタリング • モニタリング（Mackerel） • Cloud One Workload Security • アンチウイルス	参照 「ASPIRE 共通オプションサービス」

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

ベアメタルサーバサービス全般に関する注意事項

- お申込いただいたタイミングにより、提供するサーバの機種が異なる場合があります。
- お客さま持ち込み機器・外部デバイスの接続はできません。
- ハードウェアのサポート終了日については、メーカ公表時にご連絡します。当社からサポート終了のご案内を差し上げた場合は、サポート期限内でお客さまにて必要な機能・データの移行検討と実施をお願いします。
- お客さまのご都合で計画的に BMC や OS の再起動や停止を行う際は事前に受付窓口までご連絡ください。
- ベアメタルサーバを台数削減、又は解約される場合は、解約日までにベアメタルサーバのシャットダウンをお願いします。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

2.3. オプションサービス

各オプションサービスについて記載します。

2.3.1. 移行ツール

お客さまの VMware ベースで構成されたオンプレミス環境(以下、オンプレミス環境)と本システム間での仮想マシン移行ツールとして、VMware HCX のライセンス提供および本サービス上での初期構築を提供します。

契約単位

1 台（ご契約いただいているホストの全数分が必要となります）

管理パッケージに含まれる 3 台もカウントされます。

契約上限

140 台（1 契約当たり）

契約期間

1 ヶ月

課金方式

- 月額固定
  下記 2 種類のエディションからご選択いただきます。
  ・Advanced：HCX Cold Migration、HCX Bulk Migration、HCX vMotion が利用可能
  ・Enterprise：Replication Assisted vMotion（Advanced の機能を含む）
  それぞれの機能については次項の「提供内容」をご参照ください。
- お申し込み時に別途一時金が必要となります。

提供内容

ライセンス提供と本サービス上へのアプライアンス構築を提供します。本サービス環境に後述の「必要システムリソース」に記載の管理コンポーネントをデプロイします。

オンプレミス環境にも同様に管理コンポーネントが必要となりますので、お客さまにてご準備をお願いします。詳細は「ホワイトクラウド_ASPIRE_プライベートクラウド_ご利用ガイド」をご確認ください。オンプレミス環境の構築に関する不具合や障害以外のご相談や事前確認に関するお問い合わせは対応できません。

必要なエディションについては、利用する移行方式に対応する種類を選択してください。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

必要エディション	移行方法	機能概要
Advanced	HCX Bulk Migration	vSphere Replication の機能を利用し、仮想マシンのレプリケーションを複数、並行して実行可能です。 レプリケーション中は移行元にてオンライン状態を保ち、移行元仮想マシンが Power Off になったタイミングで移行先の仮想マシンに切り替わります。そのため仮想マシンのダウンタイムを削減できます。
	HCX vMotion	vSphere 基盤で動作する通常の vMotion と同様となります。 ダウンタイムは発生しませんが、1 台ずつの移行方法となります。
	HCX Cold Migration	NFC プロトコルを利用して、Power Off 状態の仮想マシンを移行します。
Enterprise	HCX Replication Assisted vMotion	HCX Interconnect アプライアンスを利用することで、複数の仮想マシンを並行して、ダウンタイムなしに移行できます。レプリケーション後の切替のタイミングで vMotion を実行し、切替後はソース VM が削除されます。

重要 エディションの変更をする場合は、本オプションで使用する管理コンポーネントの再構築が必要となります。

ご利用要件

ご利用いただく移行方式によって必要な移行元（オンプレミス環境）の要件があります。各移行方式の要件につきましては「ホワイトクラウド_ASPIRE_プライベートクラウド_ご利用ガイド」をご確認ください。

HCX Manager がインターネット上の HCX サービスポータルと通信できる必要があります。

必要システムリソース

オンプレミス環境および本サービスの両環境で下記のリソースが必要となります。オンプレミス環境はお客さまでの構築、本サービス上はソフトバンクが構築します。

アプライアンス	vCPU	メモリ	ディスク容量	役割
HCX Manager (HCX Connector)	4	12 GB	60 GB	移行先(移行元)の HCX 構成を管理
HCX-Interconnect	8	3 GB	2 GB	仮想マシン移行時のデータ転送を行う
Network Extension	8	3 GB	2 GB	オンプレ環境のネットワークを本サービス内に延伸する

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

制限事項

・本オプションにおけるオンプレミス環境と本サービス間の通信はソフトバンクが提供する VPN サービスなどの閉域網経由でのご利用なります。インターネット経由での利用は不可となりますのでご注意ください。

・お客さま環境の vSphere 基盤以外からの移行方式は想定していないため「HCX OS Assisted Migration」はご利用できません。

・セキュアオプション選択時はご利用いただけません。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

2.3.2. コンテナ機能

本オプションでは、vSphere クラスタでコンテナ機能（vSphere with Tanzu）を有効にすることで、Kubernetes 機能を提供します。

契約単位

1 台（お申込みいただいているホスト全数分必要となります）

- 管理パッケージに含まれる 3 台もカウントされます。

契約上限

140 台（1 契約当たり）

契約期間

1 ヶ月

課金方式

- 月額固定
- お申し込み時に別途一時金が必要となります。

前提条件

- 「NSX ロードバランサ」のお申込みが必要となります。
- セキュアオプション選択時はご利用いただけません。

提供内容

本サービスを構成する主な機能は以下の通りとなります。操作方法は「ホワイトクラウド_ASPIRE_プライベートクラウド_ご利用ガイド」をご確認ください。

提供内容	内容
名前空間	名前空間は、コンテナ展開用のリソースプールです。 名前空間を利用することで、本サービス上にコンテナを展開することが可能になります。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

vSphere Pod （コンテナ）	vSphere Pod は、Kubernetes アプリケーションの基本的な実行単位となり、Pod 単位でコンテナを実行いただけます。 1Pod 当たりのコンテナ展開上限数は 10 となります。
ロードバランサ	NSX-T と連携し、vSphere Pod で利用可能なロードバランサ機能を提供します。
コンテナレジストリ	本サービス上で動作する、コンテナレジストリ（Harbor）を提供します。Harbor をご利用いただくことで、お客さまのコンテナイメージの格納や管理が可能となります。Harbor は専用の名前空間内で動作します。
永続ボリューム	コンテナ用の永続ボリュームを作成・ご利用いただくことが可能です。 ご利用いただく永続ボリュームは、vSphere クラスタのデータストア内に格納されます。
kubectl	vSphere Pod 管理ツールとなります。実行するにあたっては別途端末が必要となります。

必要システムリソース

ご契約いただいた本サービスのリソース（CPU、メモリ、ディスク）から下記の必要システムリソースが消費されます。

- Kubernetes 制御プレーンノード VM

  下記記載のサイズからご選択いただいたものが 3 台構成されます。

インスタンスサイズ	最大 vSphere Pod 数	消費リソース×3 台 （vCPU / Mem / Disk）
極小	1,000	(2 / 8GB / 16GB)×3
小	2,000	(4 / 16GB / 16GB)×3
中	4,000	(8 / 24GB / 16GB)×3
大	8,000	(16 / 32GB / 16GB)×3

重要

インスタンスサイズを変更する場合は、「コンテナ機能」の再構成が必要です。
再構成した場合、全てのデータが削除されます。

補足

複数の管理パッケージをお申込みいただいている場合、各クラスタごとに必要システムリソースが消費されます。

- vSphere Pod
- 永続ボリューム

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

これらはお客さまにて作成されたリソースが消費されます。

2.3.3. エコノミーストレージ

本オプションではコストを抑えつつ大容量なストレージをご利用いただくことが可能です。

契約単位

500GB 単位

> 重要　数量の追加は可能ですが、削減することはできません。

契約上限

64 TB

契約期間

1 ヶ月

課金方式

月額固定

提供内容

ご契約いただいた容量のデータストアを提供します。

制限および注意事項

- 本オプションは他テナントとの共有ストレージとして提供されますが論理的に分割されています。
- 本オプションストレージは、仮想マシンの追加ディスクとしてのみ利用可能です。
- 1 台の仮想マシンに搭載可能なディスクは最大 62TB までとなります。
- 本オプションは共有設備となるため、大量データの読込/書込を行った場合（仮想マシンコピー、データストアへのアップロードなどを含む）、スループット制御を実施します。
- 本オプションの構成は冗長構成となっていますが、構成の一部に障害が発生した場合、およびメンテナンス作業時に、1 分程度の IO 待ち状態が発生する場合があります。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

- ホワイトクラウド ASPIRE の「バックアップ有り」（1 世代、7 世代）は利用できません。

重要	IO パフォーマンスの制限があるため、ゲスト OS のシステム領域としてエコノミーストレージを利用することを禁止しております。Windows であれば、D ドライブなどの高い IO 要件を必要としないデータ専用ボリューム(仮想ディスク)を配置してください。

2.3.4. NSX ロードバランサ

VMware NSX-T に実装された仮想ロード バランサ機能です。アプリケーションの高可用性サービスを提供し、複数のサーバ間でネットワーク トラフィックの負荷を分散します。

「管理ポータル」をご選択の場合はロードバランサの仕様が変わります。

「2.3.7.管理ポータル」の項をご確認ください。

契約単位

1 式

契約上限

1 式

契約期間

1 ヶ月

課金方式

無償提供

前提条件

- 本オプションのロードバランサ機能は、Tier-1 ゲートウェイで使用します。
- 作成された Tier-1 ゲートウェイごとに個別のロードバランサを使用します。
- セキュアオプション選択時はご利用いただけません。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

提供内容

管理パッケージに含まれる NSX-T にロードバランサ機能を追加提供します。

- 基本機能

機能	項目	備考
NAT 機能	SNAT	
構成	インライン、ワンアーム	
冗長構成	Active/Standby 方式	標準仕様

- 負荷分散機能一覧

機能	方式	備考
負荷分散	ラウンドロビン（重み付け）	
	最小接続数（重み付け）	
	IP ハッシュ	
セッション維持（Sticky）	送信元 IP	
	Cookie	
サーバヘルスチェック	HTTP、HTTPS、ICMP、TCP、UDP	
そのほか	X-Forwarded-For (XFF) 挿入 /置き換え 最大同時接続 リダイレクト ソーリー サーバ プール	

- SSL 機能一覧

機能	項目	備考
公開鍵暗号方式	RSA/ECC	
公開鍵長	2048 / 3072 / 4096 bit	
SSL 対応バージョン	TLS_V1_1、TLS_V1_2、SSL_V3、TLS_V1	

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

2.3.5.　他サービス接続用 L2 セグメント追加

閉域網、コロケーションサービス他、同一地区データセンター内にあるサービスについて、本サービスと接続することが可能です。その際に必要となる、VLAN をアサインした L2 セグメントをソフトバンクにて作成します。

契約単位

1 セグメント

契約上限

10 セグメントまで

契約期間

1 ヶ月

課金方式

契約数に応じて月額が発生します。

前提条件

他サービスとの連携用セグメントのため他サービスのお申し込みが別途必要です。

対象接続サービス

以下の対象サービスと接続が可能です。

- セキュアインターネットアクセス 3（SIA3）
- セキュアモバイルアクセス（SMA）
- マネージドゲートウェイ
- コロケーションサービス
  必要に応じてサブオプション「構内ケーブル接続冗長・増速オプション」のお申込みをいただけます
- インターネット VPN アクセス（※西日本サイトでの提供はありません）
- IP-VPN/SmartVPN（SIA3 経由もしくは個別引込）
- Wide-Ethernet（個別引込）
- ホワイトクラウド ASPIRE

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

2.3.6. 多機能ロードバランサ(Netwiser VE)

本オプションは、セイコーソリューションズ株式会社 (以下、セイコーソリューションズ社)が提供するロードバランサ: Netwiser の仮想アプライアンス版のライセンスを提供するサービスです。
ワンアーム構成にて L4 サーバロードバランス（TCP/UDP）、L7 ロードバランス（HTTP/HTTPS）の機能を提供します。

契約単位

1 台
冗長構成でご利用の場合は 2 台分のお申込みとなります。

契約上限

契約上の上限はありません。

契約期間

1 ヶ月

課金方式

月額固定

前提条件

「管理パッケージ」が開通済であり、お客さまご自身で、Netwiser 接続用の Overlay Network を作成してからお申込みいただく必要があります。

使用するアプライアンス用のシステムリソースが別途必要です。必要な CPU 数の目安は下記となります。

メモリは 4GB 以上、ストレージは 8GB 以上でご用意ください。

vCPU コア数	1vCPU	2vCPU	4vCPU
最大同時セッション(L4)	1,000,000	1,000,000	1,000,000
最大同時コネクション(L7)	200,000	200,000	200,000
最大セッション維持 (ソース IP アドレス)	1,000,000	1,000,000	1,000,000
最大スループット(L4)	3Gbps	4.5Gbps	6Gbps
最大スループット(L7)	1.5Gbps	3.7Gbps	4Gbps

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

HTTP トランザクション/秒(L4)	30,000tps	50,000tps	55,000tps
HTTP トランザクション/秒(L7)	14,000tps	21,000tps	36,000tps

提供内容

外部からの通信時に仮想マシンに対する通信の負荷分散機能を提供します。本オプションの提供にあたり、「ホワイトクラウド ASPIRE サービス説明書」 > 「セイコーソリューションズ社製品に係る使用条件」の許諾に同意するものとします。

- 基本機能

機能	項目	備考
ネットワーク	仮想 IP アドレス設定が可能	
構成	ワンアーム	
冗長構成	Master/Backup 方式 （VRRP）	申込時に選択可能
そのほか	パスワード変更 自動ログアウト機能	

- 負荷分散機能一覧

機能	方式	備考
負荷分散	ラウンドロビン（重み付け）	
	最小接続数（重み付け）	
	ソース IP アドレス	
セッション維持 （Sticky）	ソース IP アドレス	送信元クライアントのネットワークアドレスごとにセッション維持も可能
	サーバ Cookie	
	Cookie 挿入	
	SSL セッション ID	SSL セッション ID を基にしたセッション維持と L7 負荷分散機能との併用は不可
	X-Forwarded-For	XFF ヘッダの IP アドレス参照
サーバヘルスチェック	Ping	組み合わせ可能 SSL（HTTPS）ヘルスチェック可能
	TCP コネクション、UDP 送達確認、SSL ネゴシエーション確認	
	HTTP 応答データ確認 （返信文字列、ステータスコード）	

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

	DNS 応答データ確認（ドメイン指定可能）	
	FTP、IMAP4、NTP、POP3、SMTP	
そのほか	X-Forwarded-For/ X-Forwarded-Proto 挿入機能、URL リダイレクト機能、実サーバ最大コネクション数制限機能、sorry コンテンツ機能、HTTP アクセスログ	

- SSL 機能一覧

機能	項目	備考
SSL 最大同時セッション数	200,000	
最大証明書保持数	256	SNI 対応
公開鍵暗号方式	RSA	
公開鍵長	1024 / 2048 / 4096 bit	
SSL 対応バージョン	SSL3.0(※1)、TLS1.0、TLS1.2、DTLS1.0、DTLS1.2	※1 デフォルト無効
対応暗号スイート	AES128-SHA、AES128-SHA256、AES256-SHA 、AES256-SHA256、AES128-GCM-SHA384 、DHE-AES128-SHA256、DHE-AES128-GCM-SHA256 、DHE-AES256-SHA 、DHE-AES256-SHA256 、DHE-AES256-GCM-SHA384ECDHE-RSA-AES128-SHAECDHE-RSA-AES128-SHA256ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256ECDHE-RSA-AES256-SHAECDHE-RSA-AES256-SHA384ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384ECDHE-ECDSA-AES128-SHAECDHE-ECDSA-AES128-SHA256ECDHE-ECDSA-AES128-GCM-SHA256ECDHE-ECDSA-AES256-SHAECDHE-ECDSA-AES256-	※1 デフォルト無効 暗号スイートは個別設定可能 ※注意 1 「DES-CBC-SHA」、「DES-CBC3-SHA」、「RC4-MD5」、「RC4-SHA」スイートは設定可能ですが、暗号強度が弱いため、ご利用いただかないことを推奨します。 ※注意 2 SSL 通信の頻度が多い環境で ECDHE 系の暗号スイートを有効にすると、レスポンスが低下する可能性があります。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

	SHA384ECDHE-ECDSA-AES256-GCM-SHA384	

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

2.4. セキュアオプションサービス

各セキュアオプションサービスについて記載します。

2.4.1. 管理ポータル

VMware Cloud Director を使用した本サービス用の統合ポータルインターフェースとしてご利用いただけます。セキュアオプションとして Key Management Service（KMS）をご利用頂く場合、本オプションの選択が必須となります。

補足

・管理ポータルをお申込みの際、下記オプションのご利用が出来ませんのでご注意ください。
対象オプションメニュー
移行ツール（HCX）
コンテナ機能
NSX ロードバランサ
・管理ポータルの初回お申込みは本サービスの新規開通時のみとなります。

契約単位

1 台単位

ご契約頂いているホストの全数分が必要となります。管理パッケージに含まれる 3 台もカウントされます。

契約期間

基本サービスと同一期間

課金方式

・月額固定

・初回お申込み時に別途一時金が必要となります。

提供内容

本オプションメニューで提供する主な機能は下記となります。操作方法は「ホワイトクラウド ASPIRE プライベートクラウド ご利用ガイド」をご確認ください。

提供内容	説明
ユーザ管理	ユーザ登録、変更、追加、削除
API アクセス	API Token の発行および削除
仮想マシンの操作	作成・変更・削除やパワーオン、オフ、コンソール接続など

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

カタログの操作	組織内の vApp テンプレートおよびメディア ファイルのコンテナとしてカタログの管理が可能
リソース管理	簡易的なリソース利用状況の確認 詳細な情報は Aria Operations をご利用ください
ネットワークの管理	組織仮想データセンター（VDC）ネットワーク、vApp ネットワークの作成・削除 VPN 接続の管理、NAT の設定など

必要システムリソース

「管理ポータル」は当社管理のリソース上で複数のお客さまとの共有コンポーネントとしてご提供するためご利用にあたってお客さまリソースの消費はありません。

管理ポータルへのログイン

管理ポータルへのログインは当社が提供する「法人統合ポータル」経由で 2 要素認証が必須となります。

ご登録したメールアドレスにワンタイムパスワードが送られますので、セキュアな認証が標準提供となります。

詳細な内容については「ホワイトクラウド ASPIRE プライベートクラウド ご利用ガイド」をご参照ください。

管理ポータルへインターネット経由でアクセスとなりますが、セキュリティ向上のためアクセス元となるグローバル IP アドレスをヒアリングシートにご記入ください。記載された以外の IP アドレスからの接続を制限します。

ロードバランサの利用

管理ポータル環境下でロードバランサをご利用になるためには別途オプションの「多機能ロードバランサ(Netwiser VE)」のお申込みが必要となります。

2.4.2. Key Management Service

暗号化鍵管理専用のアプライアンスを使用したオプションサービスとなります。
お客さまは管理ポータル経由で仮想マシンディスクを暗号化するための鍵を管理することができます。

補足　・管理ポータルのお申込みが別途必要となります。

契約単位

1 契約

東西サイトをご契約の場合はそれぞれのサイトでお申込みが必要となります。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

契約期間

1 か月

課金方式

月額固定

提供内容

本オプションメニューで提供する主な機能は下記となります。操作方法は「ホワイトクラウド ASPIRE プライベートクラウド ご利用ガイド」をご確認ください。

提供内容	説明
仮想マシンディスク暗号化	暗号化鍵を使用して仮想マシンのディスクを暗号化します 任意のタイミングで暗号化解除が可能です
更新	暗号化鍵の再作成

必要システムリソース

「Key Management System（KMS）」は当社管理のリソース上で複数のお客さまとの共有コンポーネントとしてご提供するためご利用にあたってお客さまリソースの消費はありません。

その他

・本オプションメニューは FIPS 140-2 Lv1 となります。Hardware Security Module（HSM）ではありません。
・仮想マシンは暗号化した状態のままでのエクスポートは不可となります。
・暗号化された状態の仮想マシンは VMware Cloud Director Availability のご利用ができません。
・暗号化された仮想マシンはディスク I/O が低下する傾向がありますので、事前検証を行うことを推奨します。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

3. サポートサービス仕様

この章では、本サービスのサポートサービスについて説明します。

3.1. 法人テクニカルサポート Web と受付窓口

法人テクニカルサポート Web と受付窓口の詳細は「ホワイトクラウド ASPIRE サービス説明書」 > 「12.2. サポート窓口」および「12.3. 受付窓口」をご参照ください。

3.2. サポート範囲の制限

下記のオプションサービスおよび機能につきましては、通常のサポート対応とは異なります。

- コンテナ機能（vSphere with Tanzu）
  お問い合わせ受付は障害対応のみとなります。操作方法や、仕様に関するお問い合わせは受け付けておりません。
  コンテナ関連サーバの管理、バージョンアップにつきましては、当社が実施します。

- 移行ツール（VMware HCX）
  お問い合わせ受付は障害対応のみとなります。操作方法や、仕様に関するお問い合わせは受け付けておりません。
  また、HCX 関連サーバの管理、バージョンアップ等もお客さま対応範囲となります。

- API のご利用
  API に関するお問い合わせは受け付けておりません。

- ベアメタルサーバ
  お問い合わせ受付はハードウェアに関する障害対応のみとなります。操作方法や、仕様に関するお問い合わせは受け付けておりません。
  また、ファームウェアのバージョンアップにつきましてもお客さま対応範囲となります。

- Key Management Service（KMS）
  本オプションサービスのお問い合わせは平日 9:00 から 17:00 までとなります。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

3.3. 設備の保守

3.3.1. 基本契約

本サービスの基本契約に関する設備保守の詳細は「ホワイトクラウド ASPIRE サービス説明書」 > 「12.1. サポート内容」をご参照ください。

3.3.2. ベアメタルサーバ

保守対象

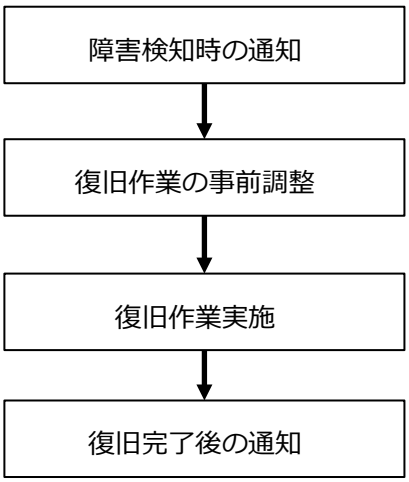
当社は本サービスが稼働する物理ハードウェアの障害管理および障害発生時の復旧対応を行います。

監視項目

当社は、ベアメタルサーバ、およびベアメタルサーバが接続する物理ハードウェア(ストレージ、ネットワーク等)のノード監視、ポート監視、サービス監視、およびログ分析を実施します。OS やアプリケーションの監視はオプション(アドバンスドモニタリング、またはモニタリング（Mackerel）)にて提供します。

障害発生時のフロー

ベアメタルサーバの障害発生時は、下記フローにて対応します。通知や復旧作業の事前調整等は、「法人テクニカルサポート Web」にご登録いただいた連絡先に実施しますので、必ず連絡先をご登録ください。



障害発生時の注意事項

- 障害発生時においてサーバシャットダウンが必要な場合は、お客さまにてシャットダウンをお願いします。
- ハードウェアの修理作業につきましては、お客さまの許可をいただいてから実施します。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

- ハードウェアの障害対応により BMC の設定がリセットされた場合には、当社提供時の初期値にてお渡しします。必要に応じ、お客さまにてバックアップを取得するようお願いします。
- ハードウェア障害に伴うパーツ交換対応により、ハードウェアのシリアルナンバーや MAC アドレス等固有情報が変更になる可能性があります。
- ハードウェア修理対応後のファームウェアは、メーカ推奨バージョンでの提供となります。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

3.4. メンテナンス

ソフトバンクが必要と判断したメンテナンス作業を、以下の時間帯に実施します。

メンテナンスの時間帯および通知

- メンテナンス時間帯　平日 18:00 ～ 5:00　土日祝日 終日
  上記時間帯の中から都度作業量に合わせ実施します。
- メンテナンス日時および影響については、1 ヵ月前を目安に通知するものとします。

補足

以下に該当するメンテナンス作業においては上記時間帯以外で実行する場合があります。

・緊急性が高いとソフトバンクにて判断した作業

・そのほか、大規模な作業や仮想マシンの稼働に影響のある作業

ソフトウェアバージョン(基本契約)

- ソフトウェアのバージョンはソフトバンク指定のバージョンとなります。
- バージョンアップ（パッチ適用など含む）についてはソフトバンクが必要と判断した際に実施します。
- バージョンアップ後は、お客さま都合による切り戻しなどは実施しません。

ソフトウェアバージョン(ベアメタルサーバ)

- ベアメタルサーバの BIOS や RAID カードに搭載されるファームウェアの管理につきましてはお客さまにてご対応をお願いします。
- ソフトバンクが必要と判断した際には当社にてバージョンアップ等実施する場合があります。
- バージョンアップ後は、お客さま都合による切り戻しなどは実施しません。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

3.5. 品質保証制度

本サービスでは、Service Level Agreement(SLA)を設定します。

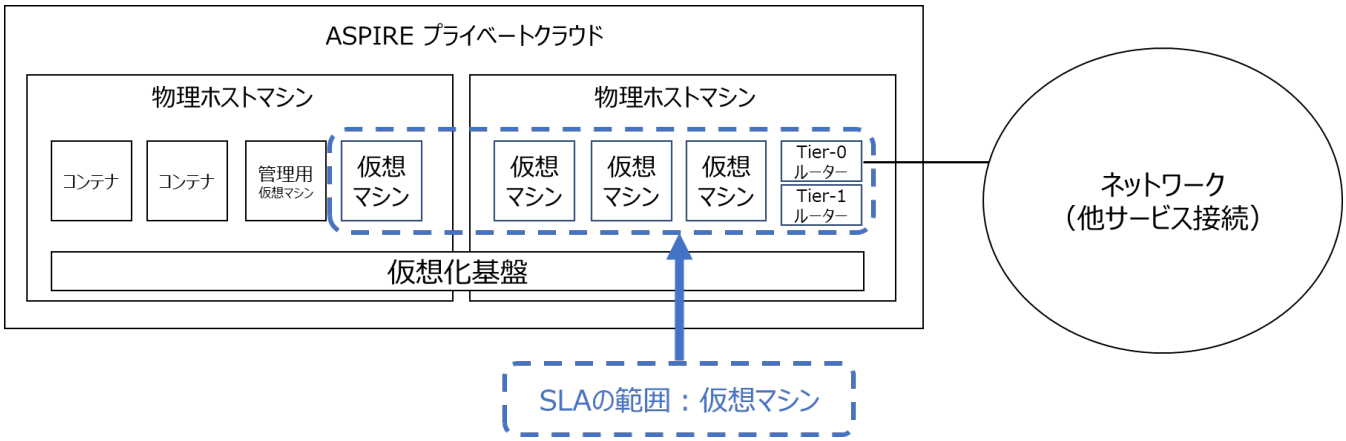
3.5.1. 基本契約の SLA

範囲対象・計算方法・返金請求手続など詳細につきましては、別ドキュメント「ホワイトクラウド ASPIRE サービス利用規約」 > 「SLA」の項、および「ホワイトクラウド ASPIRE サービス説明書」 > 「12.4 品質保証制度」の項を併せてご参照ください。

SLA の範囲対象

本サービスの SLA 対象は以下の通りです。

対象	内容
仮想マシン	お客さま契約ごと、全仮想マシン(仮想マシンおよび NSX-T)



3.5.2. ベアメタルサーバの SLA

ベアメタルサーバの SLA につきましては以下の通りとします。

SLA

故障発生月のご利用額に対し、当社における故障検知時刻から、交換作業着手時刻までの期間に応じ、下記料率に基づいた額を返金します。

- 故障発生検知から 24 時間未満：なし
- 24 時間以上～48 時間未満：20%
- 48 時間以上～72 時間未満：40%
- 72 時間以上～96 時間未満：60%
- 96 時間以上～120 時間未満：80%

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

- 120 時間以上：100%

返金は故障日の翌々月のご利用分の請求金額から減額します。但し、翌々月までに解約された場合、もしくは返金時のご利用分の請求金額が返金額を下回る場合は返金しないものとします。

SLA の範囲対象

故障したベアメタルサーバのみが対象となり、1 台単位での返金となります。

対象外となる条件

下記条件に当てはまる場合は返金対象外となります。

- 第三者が提供するサービスに起因して障害が発生した場合
- お客さま起因による障害(OS、アプリケーション等)
- コンピューターリソース（CPU、メモリ、ディスク）の逼迫およびストレージのパフォーマンス劣化、遅延に関する場合
- メンテナンス（緊急メンテナンスを含む）に伴うサーバ停止の場合
- ネットワークの帯域逼迫による遅延の場合
- 当社にて影響有無を確認できない場合
- BMC やファームウェア不具合による場合
- 第三者からの攻撃、妨害による場合
- ユーザや第三者の作為もしくは不作為の結果に起因するサービス断による場合
- 火災、停電、天災、戦争、動乱、暴動、騒乱、労働争議等、その他不可抗力による場合
- その他運用上あるいは技術上の理由により、当社が本サービスの一時的な中断が必要と判断した場合
- 当社管理外の設備に起因して障害が発生した場合
- 利用規約およびサービス説明書の定める義務に違背する行為により障害が発生した場合
- 契約内容の変更に伴うサービス停止の場合
- OS 上の不具合または OS 上にインストールされているドライバー、アプリケーションの不具合による場合
- ユーザ操作における OS 停止等
- 当社監視設備の障害が発生した場合
- 故障発生時にお客さまに連絡がつかない場合
- お客さまご都合により、対応日時等をご指定の場合

返金申請方法

お客さま専用の「法人テクニカルサポート Web」より「ホワイトクラウド ASPIRE サービスレベル規定に基づく返金申請書」をダウンロードいただき、必要事項を記入の上、新規のケース起票にて返金申請書をご提出ください。故障の事実を確認できる資料等がありましたら、申請書と併せて添付をお願います。
なお、申請期限は故障日から起算して 30 日以内です。30 日以内に申告が無かった場合は、お客さまは当社に対して返金請求をする権利を放棄したものとします。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

4. データ保護

本サービスは、日本国内のデータセンターで稼働しており、国内勤務のスタッフにより実装および運用されております。

また、データの格納先も日本となりますので、すべてのデータ(顧客データ、メタデータ、エスカレーションデータ、アカウント情報など)は、該当する主権地域に所在しており、適用されるデータ保護法の対象であり、それに準拠しております。

重要

【重要】下記オプションを選択された場合は、日本以外の地域に一部のデータが格納されますのでご注意ください。

・アンチウイルス（ソフォス株式会社提供）

・Cloud One Workload Security（トレンドマイクロ株式会社）

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

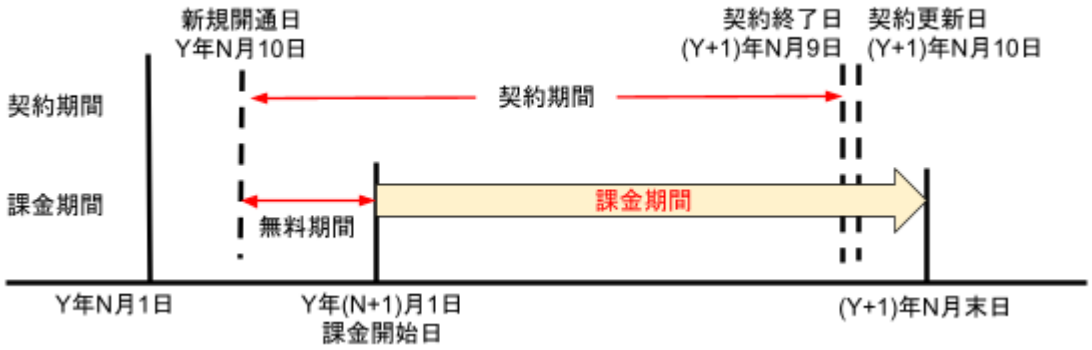
5. 契約条件・課金方式

この章では、本サービスを利用するための契約および課金方式についてご説明します。

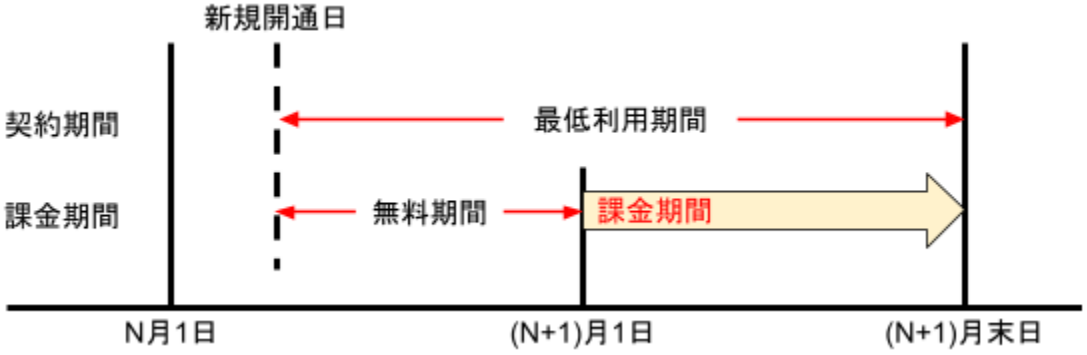
契約条件

契約期間はメニューごとに異なります。各メニューの「契約期間」の項目をご確認ください。

契約期間ごとの契約条件は以下の通りとなります。

契約期間	契約条件
年	・ 新規開通の場合、開通日の翌月 1 日より課金開始となります。 ・ 契約期間は 1 年間で、1 年単位にてご契約の自動更新がなされます。 ・ 管理パッケージ、専用ストレージ、追加ホスト、ベアメタルサーバの契約を追加した場合、契約更新日は追加分の開通日に更新されます。 ・ 課金は月単位で、1 ヶ月ごとの請求となります。 ・ 契約期間の途中で解約する場合、違約金が発生し一括請求となります。 ・ 無料期間は、新規開通時のみです。 ・ 一時金については、無料期間の対象外となり、課金開始月にご請求します。 ・ 解約月（最低利用期間満了後）の月額料金は日割り計算となります。 

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

月	・ 新規開通の場合、開通日の翌月 1 日より課金開始となります。 ・ 最低利用期間は、新規開通日からその翌月末日となり、途中解約はできません。 ・ 最低利用期間満了後は 1 ヶ月単位にてご契約の自動更新がなされます。 ・ 無料期間および最低利用期間中は、サービス料金の減少を伴う契約変更や解約はできません。 ・ 無料期間は、新規開通時のみです。 ・ 一時金については、無料期間の対象外となり、課金開始月にご請求します。 ・ 解約月（最低利用期間満了後）の月額料金は日割り計算となります。 

一時金

お申し込みいただいたメニューによっては一時金をご請求させていただくメニューがあります。
価格表をご確認ください。

月額料金

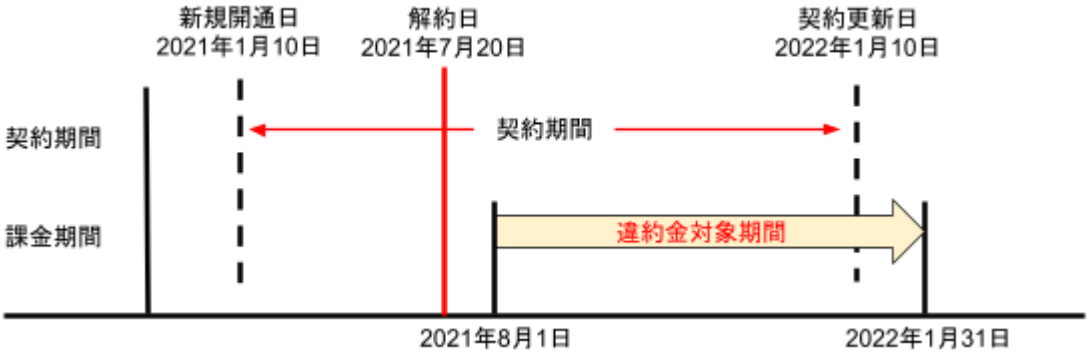
本サービスを新規にご契約いただいた際、契約開通月のご利用分については請求しません。
新規開通月の翌月 1 日からの課金開始となります。
開通後にお申し込みいただいたメニューにつきましては、サービス開始日より起算されます。
各月のサービス料金は暦月で計算するものとし、1 ヵ月に満たない月の料金は日割計算します。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

違約金

年契約のメニューを契約期間の途中で解約する場合、違約金が発生します。
違約金は解約時点での一括請求となります。

- 【例】2021 年 1 月 10 日開通の契約を 2021 年 7 月 20 日で解約した場合



Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

6. 免責事項・禁止事項

本サービスでは、以下の事柄を免責事項とします。

- お客さまが、ソフトバンク設備に過大な負荷を発生させ、円滑なサービスの提供に 著しく影響を与えていることを検知した場合、本サービスの利用を制限することがあります。

- CPU、メモリ、およびストレージなど各リソースの性能については、その上限値を保証するものではありません。

- お客さまが導入・作成した仮想マシンやコンテナ上で動作する OS、アプリケーション、データなどの不具合や脆弱性については、ソフトバンクは一切の責任を負いません。
  また、本サービスは、これらのパフォーマンス、およびデータを保証するものではありません。

- HA 機能については、再起動の実施、及び復旧前データの完全性を保証するものではありません。

- 本サービスの使用により、お客さまが第三者に損害を与えた場合、お客さまの責任と費用において解決するものとし、ソフトバンクに損害を被らせないものとします。

- お客さまが本サービスおよび本サービスで提供する機能を使用することにより、アプリケーションソフトウェアなどの権利者を含む第三者との間で著作権、特許権そのほかの知的財産権の侵害を理由として紛争を生じたときは、お客さま自身が自らの費用で解決するものとし、ソフトバンクに一切の責任を負わないものとします。

- ベアメタルサーバに関し、修理対応におけるファームウェア変更に伴う各不具合、トラブルにつきましては当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

以下の事柄は禁止事項となります。

- 本サービスの契約数量を超えるライセンス製品を使用すること。

- 本サービスの適用範囲以外でのライセンス製品の使用。

- リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルなどの解析行為。

- 本サービスで提供されるライセンス製品の不正なインストール、頒布、複製、利用または違法コピー。

- 本サービスで提供されるライセンス製品の第三者へのレンタル、リース、貸与、譲渡、および再配布。

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

7. 改訂履歴

日付	バージョン	改訂箇所
2021/4/1	1.0	初版
2021/4/2	1.01	「3.2.2.専用ストレージ」 実効物理容量を修正
2021/4/6	1.02	ご利用ガイド リンク追記 そのほか、誤字修正
2021/6/2	1.03	全体的な文言修正、説明文追加
2021/6/9	1.04	「4.2.サポート範囲の制限」について文言修正
2021/6/22	1.05	誤字修正
2021/7/26	1.06	NSX ロードバランサの詳細仕様追加
2021/11/4	1.07	追加ホストのお客さま利用可能リソース追記 仮想マシンテンプレート RHEL8 追加
2021/12/16	1.08	仮想ホスト契約上限更新
2022/5/30	1.09	モニタリング（Mackerel）追記
2022/10/19	1.10	管理パッケージおよび追加ホストのお客さま利用可能リソースを修正
2022/10/27	1.11	利用規約、プライベートクラウドサービス説明書、およびプライベートクラウドご利用ガイド URL 変更
2023/1/31	1.12	「vRealize Operations 基本機能」の「お客さま操作範囲」から「アラート機能」を削除
2023/4/6	2.00	ベアメタルサーバ追記
2023/6/27	3.00	運営主体 追記 4.データ保護 追記
2023/7/7	3.01	1.3.本サービスのメニュー体系 追記

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

2023/10/31	3.02	2.3.7.管理ポータル追記
2024/4/1	4.00	2.2.2. 専用ストレージ提供容量変更
2024/4/30	4.01	2.4. セキュアオプションサービス追記 2.4.2. Key Management Service（KMS）追記

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.

別紙 1．本サービスにおけるソフトウェアバージョン

2023 年 4 月 6 日時点でのバージョンとなります。

受注生産のため、お申込みのタイミングでバージョンが変動します。最新情報は営業・SE 経由でご確認ください。

メニュー	ソフトウェア名称	バージョン	備考
基本サービス	vCenter Server	7.0 Update 3	
	ESXi	7.0 Update 3	
	NSX-T Data Center	3.1.3.5	
	Aria Operations	8.10.0 HF1	
移行ツール	VMware HCX	3.5.3	構築時にその時点での最新版に自動アップデートされます。
コンテナ機能	Kubernetes	v.1.21.0	
管理ポータル	VMware Cloud Director	10.5.1	
Key Management Service	CipherTrust Manager	2.11.1	

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved.